

教育委員会定例会会議録

開催日時	平成29年12月1日(金) 午前10時00分
開催場所	木城町総合交流センターリパリス1階会議室
出席委員等	委員 原 朋輝                      委員 柄本奈津美
	委員 鳴海 良廣                      委員 牛田 裕子
	教育長 中竹 聖子
欠席委員	なし
上記以外の出席者	教育課長 西田誠司 専門監 外山保宏 補佐 白岩修 学校教育係長 長友三保 給食センター係長 渡邊千里

・教育委員会定例会の開催

議長選出：中竹教育長に議長をお願いしました。

議題及び議事

- (1) 12月期定例会会議録署名委員の指名(中竹教育長・柄本委員)
- (2) 11月期定例会会議録承認について(中竹教育長・原委員)

事前に送付していた11月期定例会議事録について、承認され、両名において署名

- (3) 事務局報告

① 教育長報告

- ・11月 2日(木) 武者小路実篤人間萬歳展開会式(高鍋町)

作品等については、調布市の学芸員の方に説明をして頂きました。  
12月3日までの開催となっております。この間、11月19日にはシンポジウム、11月26日には、松田省吾さん等の講演会が開催されました。

- ・11月 5日(日) 芸能まつり大会(リパリスホール)

木城町文化協会主催による芸能まつり大会に参加しました。協会構成員の高齢化が進んでおり、教育委員会から2名で手伝いをしました。今年は、保育園児の発表や小学生によるコラボ共演もあり、趣向を凝らした内容となっていました。文化協会の会員を増やすことが課題であると感じました。

- ・11月18日(土) 毛呂山町友情都市10周年記念式典(埼玉県)

行政、議会、産業交流、小中学生の絵画等の作品交流を行ってまいりましたが、町民レベルでの交流までは至っていない状況です。今後の交流のあり方についても、双方の町で協議していく必要があると思います。

- ・ 11月19日（日）東京木城会（東京都）

東京在住の29名の方々が参加されました。若い人の参加が少なく、会員の高齢化が進み、出席者も減少しています。会員の拡大が課題となっています。

- ・ 11月20日（月）市町村教育委員会連合会研究大会（宮崎市）

教育委員の皆様と出席しました。後ほど感想等をお伺いします。

- ・ 11月21日（火）教育の情報化研究公開（西米良村）

西米良村で開催されました情報化研究公開授業に参加しました。ICT教材を使った研究授業を行っていました。人数が少ないという事もあるのですが、全員がタブレットを使って授業を行っており、子どもたちも使い慣れていました。また、電子黒板は、各教室にあってもいいかなと思いました。

文化財問題について、説明

中竹教育長

何か質問はないでしょうか。

全委員

ありません。

中竹教育長

それでは、行事報告及び行事予定の説明をお願いします。

## ② 行事報告及び行事予定（課長説明）

### 11月行事報告）

- ・ 11月14日（火）学校政策課訪問（宮崎市）

専門監と学校政策課を訪問しました。目的は、本町の小中一貫教育の取組状況の説明と義務教育学校について、説明会を開催していただくようお願いに行きました。対象は、本町教育委員と事務局職員となります。県としても、小中一貫教育等について、バックアップをして頂けるとのことで協議を行いました。日程は、来年1月にリパリスで開催しますので、委員の皆さんの出席についてお願いします。

- ・ 11月19日（日）武者小路実篤人間萬歳展シンポジウム（高鍋町）

来年度、日向新しき村開村100周年記念事業の開催に向けて、実

行委員会を立ち上げ、協議を行っているところです。シンポジウムに参加して、武者小路実篤の理念等改めて感じるどころがありました。町民に対しても、次世代に引き継いでいくために、わかりやすく説明等を行っていかねばいけないと思いました。

- ・ 11月26日(日) 町民体力づくりスポーツ大会(ソフトボール)(山塚グラウンド他) 町内3か所で公民館対抗のソフトボールを開催しました。8チームを3つのパートに分け開催し、ケガもなく楽しく行われました。
- ・ 11月28日(火) 木城町小中学校校長会(木城小学校) 毎月、校長会が開催されておりますが、その中で、スマホ等の所持、利用等に係るアンケート結果がありましたので後で皆様のご意見を伺いたいと思います。
- ・ 11月29日(水) 児湯地方教育委員会秋季研修会(延岡市) 延岡市の九州保健福祉大学と特別支援学校を視察しました。委員の皆様も参加しておりますので、後でご意見を伺いたいと思います。
- ・ 11月30日(木) 県民総ぐるみによる教育推進会議(高鍋町) キャリア教育推進のため、県民が一体となって事業を展開するものです。まちなか教室等の取り組み事案や、現状の課題、解決法などを協議しました。

#### 12月行事予定)

- ・ 12月 8日(金) 12月定例議会(14日まで)(議場他) 12月11日一般質問(教育課関係について2名の質問者) 内容は、文化財問題、いじめ問題、城山公園整備、学力向上、小中一貫教育の取組、日向新しき村100周年記念事業等について
- ・ 12月16日(土) 市町村対抗駅伝壮行会(町グラウンド) 本町は、2チーム参加予定
- ・ 12月19日(20日まで) うるま市表敬訪問(沖縄県)
- ・ 12月23日(土) 第4回児湯郡プレ大会兼第60回児湯郡市町村対抗駅伝大会(高鍋町)

#### 1月の行事)

- ・ 1月1日(月) 平成30年木城町成人式(リバリスホール)
- ・ 1月6日(土) 木城町消防出初式(多目的広場)
- ・ 1月7日(日) 第8回宮崎縣市町村対抗駅伝競走大会開会式(宮崎市)
- ・ 1月8日(月) 第8回宮崎縣市町村対抗駅伝競走大会(宮崎市)

・1月28日(日)第46回木城町新春ジョギング大会

**中竹教育長**

・他にないでしょうか。

**白岩補佐**

・日向新しき村開村100周年記念事業開催に向けた、実行委員会の進捗状況ですが、実行委員会を3回開催しており、文学碑建立、文学碑ロードマップの作成、リバリス会議室を使った特別展等を検討しています。決定次第、委員の皆様にもご報告します。

**長友係長**

・12月3日に木城小学校で学習発表会が開催され、中学校も授業日となっております。また中学校は、12月4日から6日まで2泊3日沖縄県に修学旅行に行きます。12月5日に小学生を対象とした、劇団風の子の観劇がリバリスホールで開催されます。12月13日に小学6年生を対象とした、税務課による租税教室が開催されます。12月15日には、小学校では持久走大会、中学校ではロードレース大会が開催されます。小中学校ともに12月22日が終業式で、1月9日が始業式となっております。

**渡邊係長**

・インフルエンザ等に注意しながら、安全に調理作業を行っていきます。

**外山専門監**

・1月24日に木城中学校で支援訪問が開催されます。小学校においては、日程調整中であります。時間があれば、委員の皆様にも参加をお願いします。

**中竹教育長**

・質問等はありませんか。

**原委員**

・11月7日に中部教育事務所と管内市町村教育委員会意見交換会に参加しました。教職員の働き方改革について議論を行いました。部活動の指導に係る分は、中体連等の協議が必要で、県下一斉の取組でないと困難ではないか。また、本町では、パソコン管理による教職員の出退勤確認を行っているが、他の市町村においても、その取り組みは行っているようでした。文書の取り扱いにしても、鑑等は付けずに簡略化した文書のやり取りで、事務負担を軽減する等の取り組みが報告されました。来年以降は、他の委員の皆様にも参加いただけたらいいなと思っております。

#### (4) 協議事項

**中竹教育長**

・いじめ防止基本方針について協議を行います。外山専門監の説明をお願いします。

**外山専門監**

・今の木城町いじめ防止基本方針は平成26年度に制定されたものです。3年を目途に国、県の動向を踏まえて、見直し等を行うこととなっています。本年度国は、見直し作業が終わっております。県におきましても、国の改正を踏まえまして今年の夏に、基本方針の改定作業を終えています。以上を踏まえまして、今回、木城町いじめ防止基本方針の改定作業を行うものです。今後のスケジュールにつきましては、事務局で国、県の改正等を踏まえて改正案を作成しまして、今回の定例教育委員会でお示しするものです。この後、12月末まで、本町のホームページ上においてパブリックコメントを行い、意見等を集約しまして、再度修正等を行い、1月中に管内市町村教育委員会の基本方針と調整を図りながら、本年度末までに改定作業を完了し、ホームページで公表したいと考えています。今回の改正は、まず市町村の改定内容が国の改定内容に合致しているかの確認になります。具体的には、いじめの定義の明確化、道徳教育（道徳科）の充実、学校評価及び教員評価についても、いじめ対策の取組を反映させるものです。また、学校いじめ防止プログラムの作成、いじめを認知してからその解消までに、最低3ヶ月対応していくこと、専門家等の積極的な活用を図ること、幼児期の取組も行うこと、出席停止措置についても盛り込んでいます。また、県独自の改定として、校長がリーダーシップをもって対応にあたること、修学旅行や校外学習など学校以外の教育現場での対応の充実を盛り込んでいます。以上を踏まえて、本町のいじめ防止基本方針の改定作業を進めています。新旧対照表も添付しておりますので、確認していただき、後日でも結構ですのでご意見を頂きたいと思っております。併せまして、各学校でも学校におけるいじめ防止基本方針の改定、見直し作業を進めていきます。学校においても、本年度末までに改定、見直し作業を完了し、新年度から新しい基本方針で対応していくこととしています。

#### 中竹教育長

・以上、説明が終わりましたのでご意見をお願いします。今後は、からかいやふざけ合いなども、受けた側がいじめられたという感情をもてば、いじめとして認知し、対応していくこととなります。

#### 原委員

・いじめた側の出席停止の判断はどのように行いますか。

#### 中竹教育長

・一律に判断を決めるのは難しいと思います。ケースバイケースでの対応になると思います。ただ今回、いじめた側の出席停止ができるという事は、いじめ問題解決に際しても一つの方法だと考えています。

#### 外山専門監

・いじめのケースでいえば、複数の要因による場合も考えられるので、家庭環境なども考慮して複合的に判断していくものだと考えています。

**柄本委員**

- ・いじめる側がいじめとしての自覚をもって行っているのかが分からない。本意は違っても、いじめを受けた側は苦痛に感じているわけですね。

**中竹教育長**

- ・確かに、複雑な問題が絡み合って、いじめる側、いじめられる側になると思います。それらを丁寧に解決していかなければいけないと思っています。

**課長**

- ・いろいろなご意見があると思いますので、改定案を確認していただき、提案を頂けたらと思っています。多種多様な意見、提案を受けまして、検討しながら改定作業を進めていきたいと考えています。

(5) 意見交換

**中竹教育長**

- ・次に、意見交換に入りたいと思います。各種研修等に参加された委員の皆様のご意見等をお願いします。

**柄本委員**

- ・11月20日に市町村教委員会連合会主催によります、ジェイミー氏の講演が印象に残っています。外国人から見た日本人とう内容を、エピソードを交えて楽しく講演されました。日本では、6年間英語を勉強しているのに、英会話ができる人が少ないという話があり、確かに教育の英語と実践英語は違うと感じました。また、今後小学5、6年生から英語科が導入されますが、子どもたちが、英語を苦痛と感じないような取り組みが必要だと感じました。

**中竹教育長**

- ・小学校3、4年生が外国語活動、5、6年生から外国語科になるわけですが、楽しく英語を学び続けるために、教師においても、工夫が必要だと思います。

**原委員**

- ・先日、中学校の英語の授業を視察に行ったのですが、授業中、会話を含めて、ほとんど英語で授業が実施されていました。英単語や文法を覚えるだけの授業ではなく、リスニングにも重点を置いているような授業でした。

**中竹教育長**

- ・生徒もいい意味で緊張感をもって授業を受けているように感じました。実際、中学3年生において、約半数が英検3級を取得しており、英語力は非常についています。

**鳴海委員**

- ・いじめの問題について、先ほどいじめの定義が細くなったとありましたが、学校の先生方も大変じゃないでしょうか。保護者の役割も大事ではないでしょうか。

**課長**

・いじめ防止に対しては、教育委員会及び、学校での取り組みの中で、地域と家庭も連携した対応をしていく必要があると思います。

**原委員**

・いじめ問題については、保護者が担任の先生に報告しても、校長等の管理職まで共有できないことがあるのでしょうか。

**中竹教育長**

・今回の改定においても、いじめ問題に対して、学校は校長をトップとして、組織全体で対応することになっています。

**牛田委員**

・先日、新任教育委員研修を受けました。今の自分が教育に対して、何ができるのかを常に考えながら行動していきたいと思います。特別支援学校視察の研修に参加しましたが、教育といっても、普段気づかないこともたくさんあると感じました。

**中竹教育長**

・他にないでしょうか。

**原委員**

・高城合戦シンポジウムが開催されましたが、関連で根白坂の合戦跡について、案内板から距離があり、やぶになっています。歴史的価値もあると思いますので、調査を含めて、整備する計画はないのでしょうか。

**白岩補佐**

・現地は民有地になります。10年ほど前に調査をしました。高城合戦シンポジウムでも提案がありましたので、今後検討していきたいと思います。

**中竹教育長**

他にないでしょうか。

**課長**

・児童のスマホ等携帯電話の所持、利用状況についてであります。アンケート調査の結果、自分用のスマホ等携帯電話を持っている児童が小学校で34%となっています。また、1日の使用時間についても、1時間以上使っている子どもが36名で、全体の11%となっており、中には2時間以上使用している子どもも10名います。中学校においては、24%の生徒が所持しています。中学生の方が少ないですが、世代的なもので、今後、小中学校でも所持率は上昇すると思われます。アンケート調査結果を踏まえて、委員皆様のご意見をお伺いします。

**中竹教育長**

・アンケートの中で、写真を勝手に載せられた、知らない人から連絡がきた、仲間はずれにされた、など複数回答があり、全体数は把握できませんが、子どもたちに危険が及ぶ可能性があるようにも思います。学校にも、この結果を保護者にしっかり伝える

ように指導をしました。また、SNSの使い方などの指導を、低学年のうちから行わなければならないと思っています。

**柄本委員**

- ・学校としても、子どもたちはスマホ等を持っていることを前提に、指導していく方がいいのではないのでしょうか。

**鳴海委員**

- ・子どもたちはスマホ等を持っていることを前提に指導するのと保護者に対しても、注意喚起等を行っていく必要があります。

**中竹教育長**

- ・学校に持ってくることは、禁止していますので、家庭で取り扱いのルール作りが必要だと思います。

**長友係長**

- ・スマホ等が原因で、いじめに発展したり、犯罪等に巻き込まれる可能性もあるわけですから、しっかりとした使い方指導が家庭でも必要だと思います。

**柄本委員**

- ・本来家庭で行うことを学校が担っているような気がします。

**中竹教育長**

- ・小中学校でアンケート結果が出ていますので、学校と協力しながら対応策を取ってきたいと思っています。

(5) 次回定例会日程

1月10日(水) 9時から リバリス1会議室

この会議録は、事実と相違ないことを証するため、ここに署名する。

会議録署名委員  
木城町教育委員会

教育長

中竹 聖子

委員

柄本 奈津美